

2021(令和3)年度 特定非営利活動法人札幌市里親会事業報告

1 総務活動

(1) 会議の開催

①NPO法人札幌市里親会通常総会

2021(令和3)年6月17日(木) 場所:札幌市児童福祉総合センター

出席者4名、書面表決参加者65名、表決委任者44名 合計113名

②定例会議

事務局会議:毎月第2木曜日(理事長、副理事長、事務局長、児相担当職員、事務局員)

理事会:毎月第3木曜日(役員15名、児相職員2名、里親支援専門相談員7名、事務局員)

※新型コロナウイルス感染防止のためリモート(Zoom)での参加あり。

(2) 関係機関・団体・企業等への賛助会員の募集及び寄付金の協力依頼を年2回行った。

(3) 札幌市児童相談所との連絡会議

2022(令和4)年2月22日(火) 場所:札幌市児童福祉総合センター&Zoom

出席者・・・児相3名、里親会8名 合計11名

(4) 北海道里親会連合会との連絡会議

2021(令和3)年11月9日(火) 場所:Zoom 出席者・・・道里連4名、当会2名 合計6名

(5) 各ワーキンググループ会議を随時開催した。

相談訪問支援、相互交流支援、自立支援事業

※普及啓発事業、組織再編事業の開催はなかった。

2 広報・啓発活動

(1) 機関紙「ぽぷら」8月号 vol.56と3月号 vol.57をそれぞれ4, 300部発行し配布した。

(2) マスメディア(新聞社)の取材対応を行った。

(3) 札幌市子ども・子育て会議に委員として出席した。

(4) ホームページの運営・管理を行った。

(5) 毎月「事務局便り」を発行した。

(6) 金融機関の親睦会組織において会員企業への里親制度のPR活動は、新型コロナウイルス感染防止の観点から会合が全て中止となったため対応できなかった。

3 研修交流活動

(1) 新規登録里親に「里親会について」の説明を行った。

①フォスタリング機関(社会福祉法人常徳会 興正学園)

7月4日(日)、10月31日(日)、11月10日(水)

②乳幼児フォスタリング機関(社会福祉法人北翔会 札幌乳児院)

7月16日(金)、10月15日(金)、1月28日(金)

(2) 里親研修を開催した。3月24日(木) 場所:Zoom 参加者:28名

講師:吉木知也氏(佐賀女子高校校長)「未来へ乾杯!」～子どもたちの幸せを願って～

(3) フォスタリング機関・乳幼児フォスタリング機関の里親レベルアップ研修等への参加を促した。

(4) 北海道里親研修大会(北見市)にリモート(Zoom)参加した。参加者(視聴者)18名

(5) 宿泊交流会、日帰りレクは新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、感染防止の観点から中止とした。

(6) 北海道ファミリーホーム研究研究大会及びファミリーホーム全国研究大会に Zoom 参加した。

4 事業活動

(1) 援護事業

①小学校・中学校・高校入学祝い金を贈呈した。 10,000×30名

②お年玉を贈呈した。 3,000×203件

③生活援助金を贈呈した。 100,000円×13件

④(株)セイバン様から新一年生にランドセルの寄贈を受け該当者に贈呈した。 計10名

⑤子どもにクリスマスプレゼント(図書券 1,000円)を贈呈した。

⑥病気によりカツラの必要な子どものための里親支援(購入費用の支出)を行った。

(2)札幌市からの受託事業

①里親制度普及啓発事業

1)「里親フェスタ」で里子展を開催した。10月2日(土)札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」

2)「札幌市里親促進フォーラム」をオンライン(Zoom)開催した。10月27日(水)

参加者(視聴者)76名(一般15名、里親29名、関係団体17名、福祉関係10名、その他5名)

3)ラジオ放送「金子耕式ファミリートーク」に出演した。

放送日:7月26~30日、10月4日~8日 協力者:10名

②里親養育相互援助事業

1)各サロンを開催した。

新型コロナウイルス感染防止のため原則リモート(Zoom)で開催し、状況により人数制限及び感染防止対策を徹底したうえで集合での開催もあった。

おしゃべり会12回、ぼぷら会6回、すみれ会5回、スマイル会6回

2)2022(令和4)年1月14日(金) おしゃべり会主催「喋り場」を開催した。

場所:札幌市中央区民センター娯楽室 参加者:9名

3)地区懇談会をZoomで開催した。

2月26日(土) 南区、豊平区、白石区、厚別区、清田区 参加者17名

講師:ブローハン聡氏

3月12日(土) 東区、手稲区、中央区、北区、西区 参加者35名

講師:齋藤直巨氏

③委託家庭訪問事業

・メンター訪問活動

4月2件、5月2件、6月1件、7月0件、8月0件、9月0件、10月4件、11月4件

12月5件、1月4件、2月6件、3月4件

(3)協賛

10月6日(水) 札幌市共同募金会主催「赤い羽根街頭募金」活動に参加・協力した。

協力者:3名

5 傷害保険加入のため手続きを行った。

保険会社:Chubb損害保険(株) 保険の種類:傷害保険及び賠償保険

6 弔意 会員等への弔意 なし。

貸借対照表

特定非営利活動法人札幌市里親会

[税込] (単位: 円)
2022年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	108,150		
普通預金	2,040,801		
現金・預金計	2,148,951		
(その他流動資産)			
前払費用	122,220		
未収収益	545,050		
仮払金	1,150		
その他流動資産計	668,420		
流動資産合計		2,817,371	
【特定資産】			
特別事業基金	6,384,516		
北海道大会開催準備基金	200,000		
組織充実基金	500,000		
特定資産合計		7,084,516	
資産合計			9,901,887
《負債の部》			
【流動負債】			
前受金	40,000		
未払費用	79,820		
流動負債合計		119,820	
負債合計			119,820
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		9,384,815	
当期正味財産増減額		397,252	
正味財産合計		9,782,067	
負債及び正味財産合計			9,901,887

正味財産増減額計算書(2021(令和3)年度)

特定非営利活動法人札幌市里親会

(2021年4月1日から2022年3月31日)(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	差異(A)-(B)	備考
経常増減の部				
1 経常収益				
(1) 受取会費	5,580,500	2,017,000	3,563,500	
① 正会員受取会費	1,088,500	41,000	1,047,500	
② 賛助会員受取会費	347,000	12,000	335,000	
③ 運営協力金	4,145,000	1,964,000	2,181,000	
(2) 受取寄付金	173,000	9,703,317	-9,530,317	
(3) 受取助成金等	1,027,000	182,000	845,000	
① 札幌市共同募金会	250,000	0	250,000	里親新規開拓事業200,000 機関紙ぼぷら発行50,000
② 全国里親会	45,000	160,000	-115,000	活動助成金10,000 里親リクルート助成金35,000
③ 北海道共同募金会	609,000	0	609,000	お年玉3,000*203名
④ その他	123,000	22,000	101,000	道新福祉振興基金100,000 日本こども支援協会23,000(Zoom契約補助)
(4) 事業収益	1,001,010	269,500	731,510	
① 里親制度普及啓発事業	407,000	0	407,000	※札幌市受託事業
② 里親養育相互援助事業	407,000	269,500	137,500	※札幌市受託事業
③ 里親委託家庭訪問事業	187,010	0	187,010	※札幌市受託事業
(5) その他の収益	1,300,080	1,200,782	99,298	
① 受取利息	80	20	60	預金利息
② 雑収益	0	762	-762	
③ 参加費収入	0	0	0	
④ 特定資産取崩	1,300,000	1,200,000	100,000	特別事業基金(特定資産)から振替
経常収益合計	9,081,590	13,372,599	-4,291,009	
2 経常費用				
(1) 事業費	5,931,889	2,497,362	3,434,527	
給料手当	602,142	127,063	475,079	事務局員給料(※管理費と折半)
法定福利費	0	0	0	
通勤費	0	0	0	
諸謝金	189,030	11,260	177,770	ミスター謝礼@3,630*31件=112,530 里親フェスタ作品提供・ぼぷら寄稿謝礼@1,000*25名=25,000 赤い羽根街頭協力500*3名=1,500 研修講師謝礼50,000
印刷製本費	375,650	205,860	169,790	封筒代44,550 機関紙ぼぷら印刷代331,100
会議費	0	0	0	
会合費	1,017,301	39,400	977,901	里親制度普及啓発事業(フォーラム、ラジオ放送など)408,730※1 里親新規開拓事業(フォーラム)201,058※2 里親養育相互援助事業(サロン、地区懇など)407,513※3
旅費交通費	14,820	6,640	8,180	役員交通費(サロン活動等)
車両費	0	0	0	
通信運搬費	192,952	101,675	91,277	ゆうメール郵送料
消耗品費	0	3,564	-3,564	
賃借料	0	0	0	
保険料	106,420	0	106,420	ミスター保険67,000 傷害保険39,420
諸会費	681,000	0	681,000	全国里親会会費679,000 札幌市社協2,000
租税公課	800	0	800	収入印紙
接護費	2,751,774	2,001,900	749,874	お年玉(ギフト券)609,000 クリスマスプレゼント204,000 生活援助金1,300,000(13件) 入学祝金300,000(30件) 理事長表彰84,674 里子カツラ254,100
雑費	0	0	0	
(2) 管理費	1,452,449	290,422	1,162,027	
給料手当	602,143	127,062	475,081	事務局員給料(※事業費と折半)
法定福利費	9,780	0	9,780	労働保険料
通勤費	177,000	43,000	134,000	事務局員長通勤交通費
旅費交通費	55,000	52,000	3,000	役員交通費(理事会等)
通信運搬費	232,890	0	232,890	携帯電話料、IN利用料、切手代 ほか
消耗品費	81,935	0	81,935	インク、コピー用紙、文具 ほか
水道光熱費	264,609	0	264,609	行政財産使用許可に基づく加算料(光熱水費ほか)
新聞図書費	1,500	0	1,500	「あたらしいふれあい」購読料
諸会費	10,000	10,000	0	北海道NPOサポートセンター年会費
支払手数料	17,592	1,260	16,332	振込手数料等
雑費	0	57,100	-57,100	
経常経費合計	7,384,338	2,787,784	4,596,554	
正味財産増減の部				
当期正味財産増減額	1,697,252	10,584,815	-8,887,563	
前期繰越正味財産額	2,400,299	0	2,400,299	(※特定資産6,984,516)
特定資産への振替額	1,400,000	8,184,516	-6,784,516	特別事業基金1,300,000 大会準備金100,000
次期繰越正味財産額	2,697,551	2,400,299	297,252	(※特定資産7,084,516)

※1里親制度普及啓発事業 408,730	講師謝礼等142,000 会場借上キャンセル料6,800 チラシ等印刷134,530 ポスター掲示作業15,400 ラジオ制作代110,000
※2里親新規開拓事業 201,058	Zoom運営料104,940 ポスターリーフレット印刷70,400 インク25,718
※3里親養育相互援助事業 407,513	プリンター99,880 会場借上料3,000 講師謝礼(3名)110,000 マイク・スピーカーシステム99,000 プロジェクター68,200 Zoom利用料26,400 除菌用品1,033

2021年度 特定資産の増減内訳(決算)

特定非営利活動法人札幌市里親会

(2021年4月1日から2022年3月31日)(単位:円)

科目	期首価額	増額	減額	期末価額	備考
特別事業基金 ※①	6,384,516	1,300,000	1,300,000	6,384,516	増額:一般会計より振替 減額:生活援助金 @100,000×13件
北海道大会開催準備金 ※②	100,000	100,000	0	200,000	
組織充実基金 ※③	500,000	0	0	500,000	
合計	6,984,516	1,400,000	1,300,000	7,084,516	

※①任意団体札幌市里親会の特別会計(特別事業基金)から引き継いだものです。支援の種別は生活援助金と奨励金です。(※運用規約参照) 2021年5月現在、NPO法人札幌市里親会としての「特別事業基金運用規約」は整備されておりませんので、運用については当面は任意団体札幌市里親会の運用規約に準じ事業を実施して参ります。

※②2020(令和2)年2月27日任意団体札幌市里親会臨時総会の第1号議案Ⅲ新規事業参画のための「積立金」の確保について①全道里親大会輪番制に参画の積立金確保(年:最低10万円)を行う件の可決承認により準備金の積立を開始しました。

※③2020(令和2)年12月14日に任意団体札幌市里親会が受領した寄付金です。寄付の経緯は以下のとおりです。カトリック教会では、「カリタス家庭相談センター」を、ここ15年ほど運営してきました。これは、家庭に生じる課題の相談を受け、これに取り組むものです。「児童家庭支援センター」のカトリック教会版と言えます。この取り組みは、スタッフの高齢化があり、2年ほど前から後任を求めておりましたが、遂に得られず、センター自体の2021年3月末日閉鎖が決まりました。こうした時期に、「子どものためになるなら」とある方から匿名の寄付が、「カリタス家庭相談センター」に寄せられました。しかし、閉鎖が目前だったため寄付者のお気持ちに沿った寄付先として、札幌市里親会が選ばれました。以上の経緯から検討した結果、これを里親会における里親家庭支援の取り組みに用いることが最善と判断し将来の支出に備え基金として取り扱うことを決定しました。